

二十一世紀を健やかに生きよう

胃腸編

小金井中央病院長 田中昌宏

エヌセッド いかいよう ③NSAID胃潰瘍

「痛み止めを飲んだら胃が痛くなった」という訴えは医師の耳には馴染み深いものです。最近では胃潰瘍といえば、ピロリ菌（*ヘリコバクター・ピロリ*）が余りにも有名になりましたが、今回は、痛み止めと胃の病気の関係、すなわち、NSAID胃潰瘍についてお話しをしたいと思います。

NSAIDとは非ステロイド系消炎鎮痛剤（NSAID）の略です。

具体的には**バファリン330**、**ポンタールカプセル**、**ナボールSR**、**クリノリル錠**、**ロキソニン錠**、**ハイペン錠**、**イドメシニコク坐薬（25・50）**、**ボルタレン坐薬（25・50）**などのステロイドホルモンを含有しない消炎鎮痛剤の総称で頭痛、歯痛、生理痛、さらには腰痛、関節痛、筋肉痛など”痛み止め”として広く処方されている薬剤のことで、前者は多くの場合、一時的な服用で済みますが後者となると対象は高齢者が多く、慢性経過で長期連用の形を取り中止することが困難な場合が少なくありません。また、血液をサラサラにして脳梗塞の予防や治療などに用いられている**バファリン81**もNSAIDに該当し、これまた高齢者に幅広く処方される薬剤の一つでもあります。近年、NSAIDが原因で生じる胃腸病変の増加が注目され、その病態の解明や予防法・治療法も進み、NSAID胃潰瘍の予防や治療のガイドラインが報告されるようになりました。

【臨床像】

NSAIDにより胃酸に対する粘膜の防御機構が傷害され、胃粘膜に出血、ビラン（浅い傷）や潰瘍（深い傷）が生じます。急性胃病変（AGML）の形で現れることが多く、胃痛・嘔吐・吐血や下血（タール便：コルタールのような黒色便）などが代表的症状です。素人は飲み薬（胃で溶ける）だから胃が悪くなると理解しがちですが、坐剤（経肛門投与；直腸粘膜から吸収される）として使っても胃潰瘍になるわけで、痛み止めの成分その物が問題なのです。急性胃潰瘍（浅く複数の潰瘍）、出血性胃炎など急性胃病変の形で出現する 경우가多く、油断の出来ない疾患です。

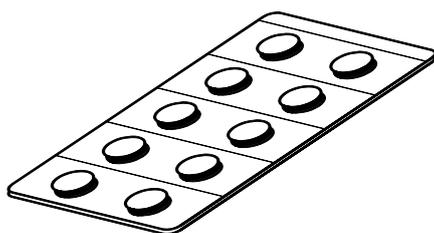


【NSAID胃潰瘍の予防】

1. NSAID潰瘍の予防には有効性が示されているプロスタグランジン製剤、プロトンポンプ阻害剤、高用量のH₂受容体拮抗薬が推奨される。
2. 選択的COX-2阻害剤は胃潰瘍の発生頻度が従来のNSAIDに比較すると予防効果が期待される。
3. 常用量のH₂受容体拮抗薬、スクラルファートがNSAIDによる胃潰瘍の発生を予防する根拠はないので、予防に用いるべきでない。

【NSAID胃潰瘍の治療】

1. NSAIDは可能なら中止し、通常の潰瘍治療を行う。
2. NSAIDの中止が不可能ならばプロトンポンプ阻害剤あるいはプロスタグランジン製剤により治療を行う。
3. NSAID継続下での再発の防止には高用量のH₂受容体拮抗薬、プロスタグランジン製剤、プロトンポンプ阻害剤が有効である。



NSAID胃潰瘍とピロリ菌感染との関連についてNSAID投与開始予定で感染がある場合は除菌治療をした方が潰瘍発生は少ないことが明らかですが、NSAID継続下での除菌治療の有効性についての根拠は今のところありません。

二倍量投与で有効性のあるH₂受容体拮抗薬は医療保険の制約で現実には使用が難しく、従って、プロトンポンプ阻害剤、プロスタグランジン製剤の投与が妥当です。



見直された 介護保険



訪問看護ステーション・ぬくもり 看護師 関口幸子

H12年から始まった介護保険制度、順調な門出と言いますが実際はどうなのでしょう。介護保険の狙いは何だったのでしょうか。介護を必要とされる方やその家族が抱えている介護の負担や不安を社会全体で支えるしくみと唱っています。

自己選択、自己決定、自立支援が原点と考えられます。

H15年4月から暮らし慣れた我が家で、できる限り自立した生活を送れるよう、介護保険のサービスにかかる費用や内容についての見直しが行われました。

主に変わったところ

- 在宅での自立した生活を支援するよう、また、施設で介護をうける場合もできる限り在宅へ復帰するよう、介護サービスにかかる費用（介護報酬）が見直されました。
- 介護サービスの内容について、利用者により適正で効率的なサービスを提供できるよう見直され、一部が変更されました。

- 訪問介護の区分が変わりました平成15年3月まで

身体介護	→	平成15年4月から	身体介護
家事援助	→		生活援助
複合型	→		廃止

- 訪問介護に、通院などのために乗車・降車の介助が新設されました。
- 通所サービスの8時間を超えた利用についても介護保険が適用されます。
- 居宅療養管理指導の1ヶ月の利用限度が変更されました。
- 個室・ユニットケアを特徴とした、小規模生活単位型介護福祉施設を整備・推進します。
- 施設からの退院・退所時の支援を行い、在宅復帰を推進します。



介護保険指定事業所 訪問看護ステーション『ぬくもり』

いつまでも自分らしい生活を送っていただくために私たち介護スタッフ一同、お役に立ちたいと願っています。

<訪問看護>

保健師・看護師などが訪問して、主治医と連絡とりながら療養上の世話や診療の補助を行います。

★こんな時★

- * 定期的に病状チェックをしてほしい
- * 点滴や尿管カテーテルの管理が必要

★主な内容★

- * 病状の観察・食事、排泄、入浴の介助・清拭・床ずれの管理
- * ターミナルケア（終末期医療）
- * 特別な管理を必要とする場合の加算はあります。
早朝・夜間25%加算 深夜50%加算 緊急時訪問加算
- * 難病（特定疾患）などの方は介護保険の1割負担はありません。
- * 訪問看護だけを利用する場合は、医療保険を使って利用することができます。



<訪問介護（ホームヘルプ）>

ホームヘルパーが訪問し、排泄、入浴、食事などの身体介護や、調理、掃除、生活相談などの生活援助や、通院時の乗車降車（介護タクシー）の介助などを行います。

★こんな時★

- * トイレの介助や入浴の介助をしてほしい
- * 家事ができないので手伝ってほしい
- * 通院を手伝ってほしい

★主な内容★

身体介護 …排泄や入浴の介助、清拭や入浴の介助、
着替えの介助、通院の付き添いなど
同居家族の有無に関わらず利用できます。

生活の援助…調理や掃除、洗濯 生活必需品の買い物 薬の受け取り一人暮らしや同居家族が病弱など家事を行うことが困難な場合に利用できます。

